

司書資格取得のために大学において履修すべき図書館に関する科目一覧〔13科目24単位〕

1. 基礎科目 4科目・8単位

生涯学習概論	図書館概論	図書館情報技術論	図書館制度・経営論
生涯学習及び社会教育の本質と意義の理解を図り、教育に関する法律・自治体行財政・施策、学校教育・家庭教育等との関連、並びに社会教育施設、専門的職員の役割、学習活動への支援等の基本を解説する。	図書館の機能や社会における意義や役割について理解を図り、図書館の歴史と現状、館種別図書館と利用者ニーズ、図書館職員の役割と資格、類縁機関との関係、今後の課題と展望等の基本を解説する。	図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料、コンピュータシステム等について解説し、必要に応じて演習を行う。	図書館に関する法律、関連する領域の法律、図書館政策について解説するとともに、図書館経営の考え方、職員や施設等の経営資源、サービス計画、予算の確保、調査と評価、管理形態等について解説する。
2単位		2単位	2単位
1) 生涯学習・生涯教育論の展開と学習の実際	1) 図書館の現状と動向	1) コンピュータとネットワークの基礎	1) 図書館法（逐条解説）
2) 生涯学習社会における家庭教育・学校教育・社会教育の役割と連携	2) 図書館の構成要素と機能	2) 情報技術と社会	2) 他館種の図書館に関する法律等（学校図書館法、国立国会図書館法、大学設置基準、身体障害者福祉法）
3) 生涯学習振興施策の立案と推進	3) 図書館の社会的意義（ユネスコ公共図書館宣言、地域社会と図書館を含む）	3) 図書館における情報技術活用の現状	3) 図書館サービス関連法規（子どもの読書活動推進法、文字・活字文化振興法、著作権法、個人情報保護法、労働関係法規、民法等）
4) 教育の原理とわが国における社会教育の意義・発展・特質	4) 知的自由と図書館（図書館の自由に関する宣言等）	4) 図書館業務システムの仕組み（ホームページによる情報の発信を含む）	4) 図書館政策（国、地方公共団体）
5) 社会教育行政の意義・役割と一般行政との連携	5) 図書館の歴史	5) データベースの仕組み	5) 公共機関・施設の経営方法（マーケティング、危機管理を含む）
6) 自治体の行財政制度と教育関連法規	6) 公立図書館の成立と展開	6) 検索エンジンの仕組み	6) 図書館の組織・職員（組織構成、館長の役割、人事管理、図書館協議会、ボランティアとの連携）
7) 社会教育の内容・方法・形態（学習情報の提供と学習相談、評価を含む）	7) 館種別図書館と利用者のニーズ	7) 電子資料の管理技術	7) 図書館の施設・設備
8) 学習への支援と学習成果の評価と活用	8) 図書館職員の役割と資格	8) コンピュータシステムの管理（ネットワークセキュリティ、ソフトウェア及びデータ管理を含む）	8) 図書館のサービス計画と予算の確保
9) 社会教育施設・生涯学習関連施設の管理・運営と連携	9) 図書館の類縁機関・関係団体（文書館を含む）	9) デジタルアーカイブ	9) 図書館業務・サービスの調査と評価
10) 社会教育指導者の役割	10) 図書館の課題と展望	10) 最新の情報技術と図書館	10) 図書館の管理形態の多様化

2. 図書館サービスに関する科目 4科目・8単位

図書館サービス概論	情報サービス論	児童サービス論	情報サービス演習
<p>図書館サービスの考え方と構造の理解を図り、資料提供、情報提供、連携・協力、課題解決支援、障害者・高齢者・多文化サービス等の各種のサービス、著作権、接遇・コミュニケーション等の基本を解説する。</p>	<p>図書館における情報サービスの意義を明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービス等のサービス方法、参考図書・データベース等の情報源、図書館利用教育、発信型情報サービス等の新しいサービスについて解説する。</p>	<p>児童（乳幼児からヤングアダルトまで）を対象に、発達と学習における読書の役割、年齢層別サービス、絵本・物語等の資料、読み聞かせ、学校との協力等について解説し、必要に応じて演習を行う。</p>	<p>情報サービスの設計から評価に至る各種の業務、利用者の質問に対するレファレンスサービスと情報検索サービス、積極的な発信型情報サービスの演習を通して、実践的な能力を養成する。</p>
2単位	2単位	2単位	2単位
1) 図書館サービスの考え方と構造	1) 情報社会と図書館の情報サービス	1) 発達と学習における読書の役割	1) 情報サービスの設計（レファレンスサービスの体制づくりを含む）
2) 図書館サービスの変遷（図書館法制定以降）	2) 図書館における情報サービスの意義と種類（レファレンスサービス、レフェラルサービス、カレントアウェアネスサービス、読書相談、利用案内等）	2) 児童サービスの意義（理念と歴史を含む）	2) レファレンスコレクションの整備
3) 資料提供サービスの基本（利用案内・貸出・予約サービスの流れと相互の関係）	3) レファレンスサービスの理論（利用者の情報行動、レファレンスプロセス、事例の活用、組織と担当者、サービスの評価等）	3) 児童資料（絵本）	3) レファレンスインタビューの技法と実際
4) 情報提供の形態と機能（レファレンスサービス、情報発信、講座・セミナー）	4) レファレンスサービスの実際（レファレンスサービスの体制づくり・実施・普及、現状と問題点等）	4) 児童資料（物語と伝承文学、知識の本）	4) 情報検索の技法と実際（各種データベースの検索演習や電子ジャーナルの活用）
5) 図書館サービスの連携・協力（図書館ネットワークの意義と形態）	5) 情報検索サービスの理論と方法	5) 児童サービスの実際（資料の選択と提供、ストーリーテリング、読み聞かせ、ブックトーク等）	5) 質問に対する検索と回答（質問の分析と情報源の選択を含む）
6) 課題解決支援サービス	6) 各種情報源の特質と利用法	6) 乳幼児サービス（ブックスタート等）と資料	6) 発信型情報サービスの実際（パスファインダーの作成を含む）
7) 障害者サービス	7) 各種情報源の解説と評価（参考図書、ネットワーク情報資源等を含む）	7) ヤングアダルトサービスと資料	7) 情報サービスの評価（レファレンス事例の作成・評価を含む）
8) 高齢者サービス、多文化サービス	8) 各種情報源の組織化（二次資料の作成、情報発信を含む）	8) 学習支援としての児童サービス（図書館活用指導、レファレンスサービス）	
9) 図書館サービスと著作権	9) 発信型情報サービスの意義と方法	9) 学校、学校図書館の活動（公立図書館との相違点を含む）	
10) 利用者に対する接遇・コミュニケーション、広報	10) 図書館利用教育（情報リテラシーの育成を含む）	10) 学校、家庭、地域との連携・協力	

3. 図書館情報資源に関する科目 3科目・6単位

図書館情報資源概論	情報資源組織論	情報資源組織演習
印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源について、類型と特質、歴史、生産、流通、選択、収集、保存、図書館業務に必要な情報資源に関する知識等の基本を解説する。	印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源からなる図書館情報資源の組織化の理論と技術について、書誌コントロール、書誌記述法、主題分析、メタデータ、書誌データの活用法等を解説する。	多様な情報資源に関する書誌データの作成、主題分析、分類作業、統制語彙の適用、メタデータの作成等の演習を通して、情報資源組織業務について実践的な能力を養成する。
2単位	2単位	2単位
1) 印刷資料・非印刷資料の類型と特質（図書・雑誌・新聞、主要な一次・二次資料、資料の歴史を含む）	1) 情報資源組織化の意義と理論	1) 書誌データ作成の実際
2) 電子資料、ネットワーク情報資源の類型と特質	2) 書誌コントロールと標準化	2) 主題分析と分類作業の実際
3) 地域資料、行政資料（政府刊行物）、灰色文献	3) 書誌記述法（主要な書誌記述規則）	3) 主題分析と統制語彙適用の実際
4) 情報資源の生産（出版）と流通（主な出版者に関する基本的知識を含む）	4) 主題分析の意義と考え方	4) 集中化・共同化による書誌データ作成の実際
5) 図書館業務と情報資源に関する知識（主な著者に関する基本的知識を含む）	5) 主題分析と分類法（主要な分類法）	5) 書誌データ管理・検索システムの構築
6) コレクション形成の理論（資料の選択・収集・評価）	6) 主題分析と索引法（主要な統制語彙）	6) ネットワーク情報資源のメタデータ作成の実際
7) コレクション形成の方法（選択ツールの利用、選定・評価）	7) 書誌情報の作成と流通（MARC、書誌ユーティリティ）	
8) 人文・社会科学分野の情報資源とその特性	8) 書誌情報の提供（OPACの管理と運用）	
9) 科学技術分野、生活分野の情報資源とその特性	9) ネットワーク情報資源の組織化とメタデータ	
10) 資料の受入・除籍・保存・管理（装備・補修・排架・展示・点検等を含む）	10) 多様な情報資源の組織化（地域資料、行政資料等）	

4. 選択科目（2科目以上選択）

図書館基礎特論	図書館施設論
必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、基礎科目に関する領域の課題を選択し、講義や演習を行う。	必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書館活動・サービスが展開される場としての図書館施設について、地域計画、建築計画、その構成要素等を解説する。
1 単位	1 単位
図書館サービス特論	図書館総合演習
必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書館サービスに関する領域の課題を選択し、講義や演習を行う。	必修の各科目で学んだ内容を掘り下げて学習し、理解を深める観点から、少人数を対象に、研究指導や論文指導あるいは見学会・講演会等を組み合わせた総合的な演習を行う。
1 単位	1 単位
図書館情報資源特論	図書館実習
必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書館情報資源に関する領域の課題を選択し、講義や演習を行う。	図書館に関する科目で得た知識・技術を元にして、事前・事後学習の指導を受けつつ公立図書館業務を経験させる。
1 単位	1 単位
図書・図書館史	
必修の各科目で学んだ内容を発展的に学習し、理解を深める観点から、図書をはじめとする各種図書館情報資源の形態、生産(印刷等含む)、普及、流通等の歴史、並びに図書館の歴史的発展について解説する。	
1 単位	

「図書館に関する科目」新旧比較表

<現行科目>

	No.	科目名	単位数
必修科目	1	生涯学習概論	1単位
	2	図書館概論	2単位
	3	図書館経営論	1単位
	4	図書館サービス論	2単位
	5	情報サービス概説	2単位
	6	児童サービス論	1単位
	7	レファレンスサービス演習	1単位
	8	情報検索演習	1単位
	9	図書館資料論	2単位
	10	専門資料論	1単位
	11	資料組織概説	2単位
12	資料組織演習	2単位	
選択科目		図書及び図書館史	1単位
	13	資料特論	1単位
		コミュニケーション論	1単位
	14	情報機器論	1単位
		図書館特論	1単位

(14科目20単位)

講義 11科目 16単位 240時間
 演習 3科目 4単位 60~120時間
 300~360時間

<改正科目>

	No.	区分	科目名	単位数
必修科目	1		生涯学習概論	2単位
	2		図書館概論	2単位
	3	基礎科目	図書館情報技術論	2単位
	4		図書館制度・経営論	2単位
	5	図書館サービスに関する科目	図書館サービス概論	2単位
	6		情報サービス論	2単位
	7		児童サービス論	2単位
	8		情報サービス演習	2単位
	9	図書館情報資源に関する科目	図書館情報資源概論	2単位
10	情報資源組織論		2単位	
11		情報資源組織演習	2単位	
選択科目		(2科目選択)	図書館基礎特論	1単位
			図書館サービス特論	1単位
	12		図書館情報資源特論	1単位
			図書・図書館史	1単位
	13		図書館施設論	1単位
			図書館総合演習	1単位
			図書館実習	1単位

(13科目24単位)

講義 11~9科目 20~18単位 300~270時間
 演習・実習 2~4科目 4~6単位 60~195時間
 360~465時間

※ 講義:1単位15時間, 演習:1単位15~30時間, 実習:1単位30~45時間とする。